

横見ゼミナール活動報告

私たち横見ゼミナールは「**観光を通じた地域活性化**」をテーマに各学年が活動を実施しています。

2年生

2年生は、ゼミの総まとめとして、四條畷市内の美味しいお店を厳選した「グルメ冊子」を作成しています。この冊子の主なターゲット層は市内在住の若者で、四條畷市の「食」を通じた魅力発信による地域活性化を目的としています。

この冊子では、四條畷市内を「JR 四条畷駅エリア」と「JR 忍ヶ丘駅エリア」に分けて、そのなかから厳選した8店舗を紹介しています。冊子の作成にあたり、様々な店舗への取材交渉、現地取材、冊子のレイアウトや印刷に至るまで、全てを学生が中心となって行いました。完成した冊子は、2月頃に、四條畷市役所、JR 四条畷駅、JR 忍ヶ丘駅、掲載した各店舗、本学などに配置する予定です。



▲掲載店舗の写真の一例



▲掲載ランチの一例

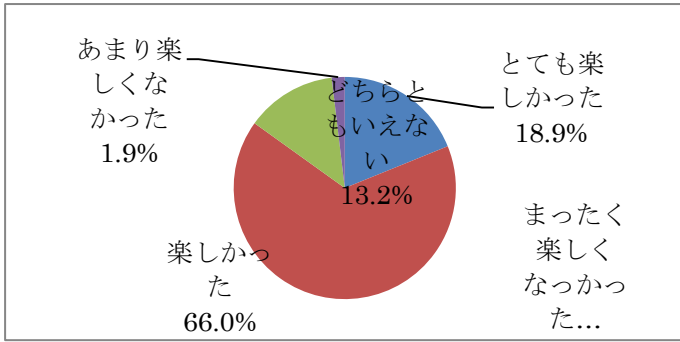


▲冊子の紹介記事(抜粋)

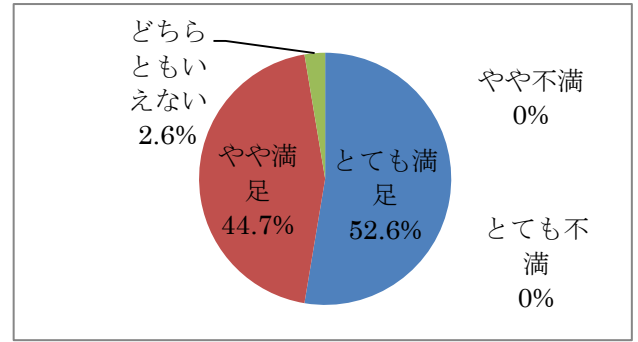
3年生

3年生は、鉄道会社と協働した地域の活性化を実施することを目的として、2018年11月11日に、近鉄（近畿日本鉄道）布施駅と共同で「大学生とのコラボ企画 貸切列車で行く京都宇治ツアー」と題したツアーを実施しました。ツアーの目的地を考えるとこから、ツアー内容、貸切列車内での企画など、ほぼすべてのことを学生自身で考え、近鉄サイドとの幾度にわたる話し合いや企画書の修正作業を経ながら準備をしました。当日は参加人数100名と、満員御礼のなか無事にツアーを成功させることができました。また、参加者の方にアンケートをお願いし、これらを集計した結果、とくに列車内で行ったクイズ付きのビンゴゲームでは90%以上のお客様から最高の評価をいただきました。また、メインイベントである「お茶席体験」でも約85%のお客様に満足をしていただくことができたことで、ツアーの総合評価としても97.3%のお客様に満足と回答していただくことができました（図を参照）。

アンケート調査の分析結果は「成果報告書」としてとりまとめ、2月4日に布施駅の駅長さんに対して贈呈式を実施しました。



▲お茶席体験の満足度



▲ツアーの総合評価



▲学生製作チラシ



▲お茶席の体験 (対鳳庵)



▲宇治上神社の参拝

4年生

4年生は、横見ゼミナールでの最後の学びとして、「他の人に教えた経験」が自分自身にとっての最上位の学びであるという認識にもとづき、卒業にあたってゼミ活動の集大成として、これまでの3年間で学んできたことを後輩に「教える」プロジェクトを立ち上げました。その成果物として、学生の皆さんにとって利用しやすく読みやすい「冊子」を作成しました。

冊子の内容は、これまでのゼミ活動で経験したことや気づいたことを中心に「ゼミの心得、ゼミ活動の喜怒哀楽、就活に向けてのアドバイス、各ユニット活動における成功談と失敗談」を集約したものです。冊子の製作過程は、最初に、後輩に「伝えたい事柄」について話し合い、次に、これを項目ごとに分類して整理し、そして、冊子のレイアウトやデザインを考えました。「読んでもらえる」冊子を目指すために、学生の喜怒哀楽の表情を写真に撮って、これを冊子に追加しました。最後に、ラミネート加工をして冊子を完成させました。成果報告会の後、冊子のプレゼンを披露したのち、これを後輩たちに贈呈する予定です。



▲冊子作成中の様子



▲冊子の完成版

